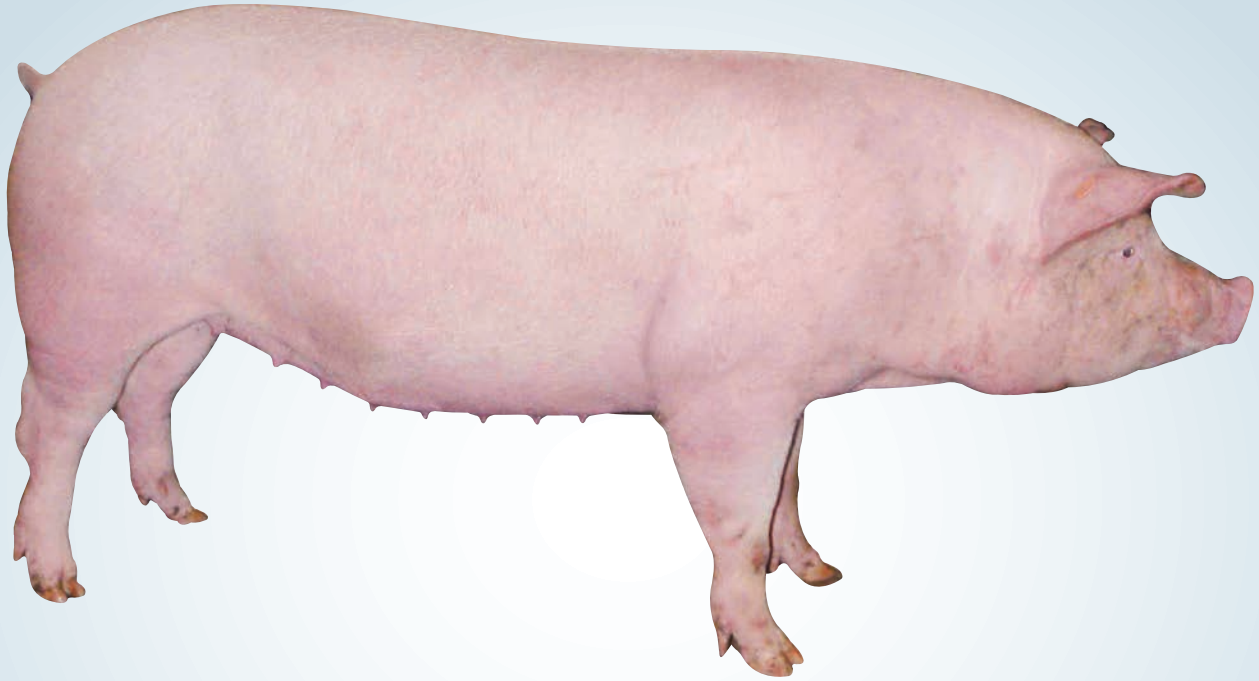


多様な環境でも能力発揮 ケンボロー[®]35

日本オリジナル種雌豚



種 豚



飼いやすさ

高い繁殖能力

連産性

特長

日本市場をターゲットとし、高い繁殖性と飼いやすさの両立を目指して開発された日本独自の種雌豚です。

母豚は高い繁殖性と強健性、連産性を持っているだけでなく、生産される肉豚は増体・要求率に優れています。

各地域の特性やヘルステータスの違いといった様々な条件にも適応し、効率の良い肉豚生産をすることが可能です。

2015年からの販売開始以来、この日本オリジナル種雌豚は全国の農場でその能力を発揮するとともに各地で生産された豚肉が銘柄化されています。

Iwatani

イワタニ・ケンボロー株式会社

イワタニケンボロー

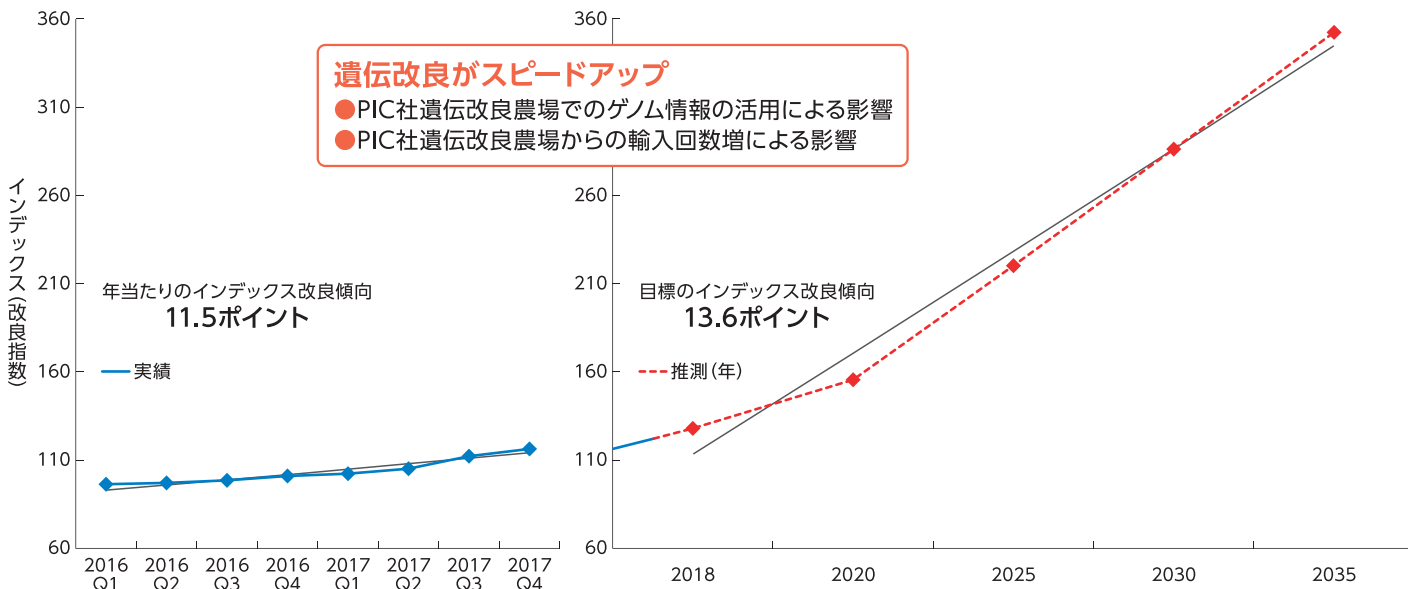
検索

<http://www.camb.co.jp>

日本での成績 2017年度ケンボローコンテスト農場成績(ケンボロー35[®]×PIC[®]380)

母豚頭数	10カ月前母豚	1腹当たりの総産子数	1腹当たりの生存子豚頭数	1腹当たりの離乳頭数	1母豚当たりの年間離乳頭数
137頭	137頭	15.1頭	13.8頭	12.2頭	29.7頭

ケンボロー[®]35の遺伝改良傾向



実績と遺伝改良傾向からの推測値

	2016年実測値	2017年実測値	2018年推測値	2020年推測値	2025年推測値	2030年推測値	2035年推測値
1腹あたりの総産子数	15.40*1	15.70*2	15.89	16.27	17.22	18.17	19.12

*1: 日本国内ケンボロー[®]35使用農場Cの月平均値(実測値2016年1月~2017年12月)

*2: 日本国内ケンボロー[®]35使用農場Cの月平均値(実測値2017年1月~2018年12月)

最新の優れた遺伝子をお届けするために

PIC社は、世界の遺伝改良農場から集まってくる膨大な成績をデータシステム『PIC Traq™(ピクトラック)』へ集約して遺伝改良に反映させています。

さらに改良の正確性、スピードを高めるためにコマーシャル農場レベルの遺伝的評価をフィードバックする『GNXプログラム』の採用や最新技術によるゲノム情報の解析結果を選抜に取り入れています。

お客様の農場で最高の成績を出すために日々遺伝改良を続けています。

詳細は、弊社種豚専門スタッフにお問い合わせください。適切なアドバイスとご提案をさせていただきます。

● 総販売元・お問い合わせ先

Iwatani

イワタニ・ケンボロー株式会社



本社／東京事務所 〒103-0026 東京都中央区日本橋小網町3-11 日本橋SOYICビル3階
 札幌事務所 〒060-0908 札幌市東区北8条東3-1-1 宮村ビル304号
 東北事務所 〒020-0874 岩手県盛岡市南大通1-8-7 CFC第1ビル5階
 大阪事務所 〒541-0053 大阪市中央区本町3-4-8 東京建物本町ビル8階
 九州事務所 〒880-0806 宮崎市広島1-18-7 大同生命宮崎ビル10階

TEL.03-3668-5360 FAX.03-3668-5368
 TEL.011-807-8261 FAX.011-807-8262
 TEL.019-604-6888 FAX.019-626-1095
 TEL.06-6264-2929 FAX.06-6264-3068
 TEL.0985-23-5543 FAX.0985-23-5561